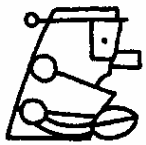


たなばた

## 七夕のおりひめ星とひこ星は、夏の大三角形に入るの



おりひめ星はこと座のべが、ひこ星はわし座のアルタイルで、どちらも夏の大三角形をつくっている星なのさ。

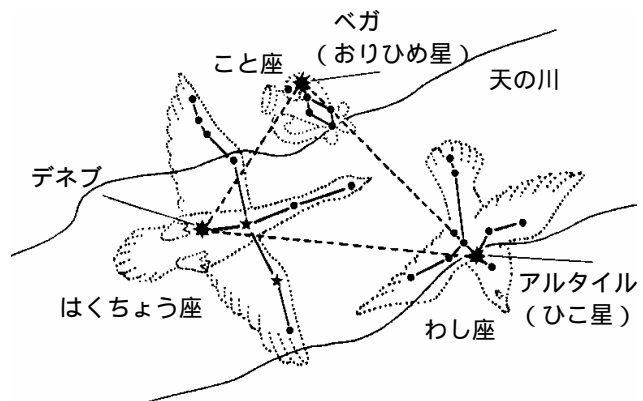
夏の大三角形とよばれる星は、7月ごろ、東の空から真上の空にかけて、明るく目立つ3つの星が、ちょうど夜空に大きな三角形をえがくように並んでいるのが見えるのをさしています。この三角形は、天の川にまたがるように位置しています。

三角形の真上に近いところにある星がべが（おりひめ星）で、その右側の下にあるのがアルタイル（ひこ星）です。べがとアルタイルは、ちょうど天の川をはさんで兩岸にあるように見えます。そのため、七夕伝説が生まれたようです。

七夕伝説は、中国から日本に伝わったつぎのようなものです。天の川の西にすんでいた、布を織るのがじょうずなおりひめ星（べが）が、天の川の向こう岸にすむ牛飼（ひこ星）と結婚してからは、布を織らなくなったため、父親である天の王様がおこっておりひめ星をつれもどしてしまいました。しかし、ないてばかりいるおりひめ星がかわいそうになり、一年に一回だけ天の川をわたって、牛飼いに会うことをゆるしたのが、七夕の日になったというものです。

## 夏の大三角形は、星座を探す目印

夏の大三角形をつくっているべがはこと座、アルタイルはわし座、大三角形の左の星であるデネブは、はくちょう座を探す目印として、便利です。



&lt; 夏の大三角形 &gt;